

No. 535
2016年
2月

OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-13-5 サン・チカビル 7F
電話 (03) 3851-6100 Fax (03) 3851-6055
<http://www.orsj.or.jp/>

● 第34回学生論文賞募集

OR学会の発展は、将来の優秀なOR研究者およびOR実務担当者の養成いかにかかっています。その一助として、ORに対する学生の関心を高め、かつ大学におけるOR関係学科間での情報交流にも役立てるため、学生会員の卒業論文、修士論文の中から、毎年優秀なものを選び、「日本OR学会学生論文賞」として昭和58年度より表彰しております。

対象は、学部卒の卒業論文、または大学院の修士論文とします。毎年5編程度を表彰する予定です。指導教員、学生がともに本学会員であることが必要です。卒業論文・修士論文の指導にあたっておられる教員の方々には、積極的にご推薦くださいますよう、お願いいたします。

(表彰委員会)

応募方法：

(1) 正会員である指導教員の推薦状1部を、指導教員から送付してください。

* 推薦状は、学会WEB <http://www.orsj.or.jp/whatisor/award7.html>よりダウンロードしてください。

(2) 卒業論文あるいは修士論文の論文、および論文要約のファイルを、学生から提出してください。

* PDFファイルの名称は、それぞれ次のように執筆者の名前入り、英文字としてください。

- ・論文…Thesis_Yamada_Taro.pdf
- ・論文要約 (A4判2枚) …Abstract_Yamada_Taro.pdf

応募学生の資格：2016年3月に学部を卒業、あるいは修士課程を修了する会員で、引き続き学生会員あるいは正会員である者。

応募締切：2016年3月31日

送付先：学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp
(表彰委員会宛)

表彰：受賞者には、OR学会研究発表会その他適当な機会に表彰し、受賞論文の要約をOR誌に掲載します。

● 2016年春季シンポジウム (第75回)

日程：2016年3月16日 (水) (受付 12:10～)

場所：慶應義塾大学 日吉キャンパス 協生館 藤原洋記念ホール

テーマ：「ビッグスポーツイベントとOR—東京オリンピック・パラリンピックを安全・エネルギー・交通から考える—」

実行委員長：田村明久 (慶應義塾大学)

シンポジウムHP：<http://www.orsj.or.jp/~nc2016symposium.html>

プログラム：

13:00～13:05 開催の挨拶

13:05～13:20 腰塚武志氏 (筑波大学名誉教授, 日本OR学会前会長)

「オリンピックとOR」

13:20～14:20 河野一郎氏 (東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会副会長)

「東京オリンピック・パラリンピックに向けて」

14:25～15:25 伊藤哲朗氏 (東京大学生産技術研究所客員教授, 元内閣危機管理監)

「大規模スポーツイベントにおける危機管理～東京オリンピック・パラリンピックを中心に～」

15:40～16:40 大西英之氏 (GEパワー & ウォーター日本代表)

「エネルギー問題における部分最適から全体最適へのパラダイムシフト」

16:45～17:45 田口東氏 (中央大学理工学部教授)

「東京オリンピック観戦客輸送の余裕を首都圏電車ネットワークは持っているか」

事前振込み参加費：3/5 (土) 締切

正・賛助会員：3,000円

学生会員：1,000円

非会員：4,000円

* 非会員の学生の事前振込みはありません。

* OR誌2月号綴込みの振替用紙をご利用ください。当日は、アイウエオ順の受付になります。参加費受領メールの送信はありませんので、振替用紙の半券を保管ください。

*欠席の場合、参加費の返金はできません。シンポジウム予稿集をお送りします。

正会員特典利用：3/5(土) 締切

2016年度年会費納入済み個人正会員は、2016年春・秋シンポジウムのうち1回無料で参加できます。研究発表会にも参加の場合は、上記の振替用紙の「正会員無料特典利用」を○で囲んでください。シンポジウムのみ参加の場合は、OR学会事務局にメールでお申込みください。

当日受付参加費：

正・賛助会員：4,000円

学生会員：2,000円

非会員：5,000円

非会員の学生：2,000円

*学生の方は受付で学生証の提示をお願いします。

2016年3月に卒業・修了する方も学生として参加できます。受付当日に学生証の提示ができない場合は、3月に卒業・修了した旨お伝えください。

協賛学会：正会員と参加費同額

- ・公益社団法人日本経営工学会 (JIMA)
- ・社団法人日本品質管理学会 (JSQC)
- ・日本信頼性学会 (REAJ)
- ・研究・技術計画学会 (JSSPRM)
- ・一般社団法人日本設備管理学会 (SOPE-J)
- ・一般社団法人プロジェクトマネジメント学会

参加費関連問合せ先：

OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● 2016年春季研究発表会

日 程：2016年3月17日(木)、18日(金)

場 所：慶應義塾大学 矢上キャンパス

OR学会統一テーマ：「オリンピック・パラリンピックとOR」

発表会特別テーマ：「実学で切り拓くOR」

実行委員長：栗田 治 (慶應義塾大学)

発表会HP：<http://www.orsj.or.jp/~nc2016s/>

特別講演：

- ・前刀禎明氏 (リアルメディア社長, 元アップル日本法人代表)
- ・塩浦昭義氏 (東京工業大学, OR学会研究賞受賞)

学生優秀発表賞：本研究発表会では、学生による優れた発表を奨励するために、学生による研究発表のうち特に優れたものを学生優秀発表賞として表彰します。学生のみなさまには奮ってご応募くださいます

ようお願い申し上げます。詳細につきましては研究発表会HPをご覧ください

事前振込み参加費：3/5(土) 締切

正・賛助会員：6,000円

学生会員：1,000円

非会員：8,000円

*非会員の学生の事前振込みはありません。

*OR誌2月号綴込みの振替用紙をご利用ください。

当日は、アイウエオ順の受付になります。参加費受領メールの送信はありませんので、振替用紙の半券を保管ください。

*欠席の場合、参加費の返金はできません。アブストラクト集をお送りします。

登壇料：非会員のみ (非会員学生を含む) 参加費と別途2,000円/件 (本学会の許可が必要)

当日受付参加費：

正・賛助会員：7,000円

学生会員：2,000円

非会員：10,000円

非会員の学生：2,000円

*学生の方は受付で学生証の提示をお願いします。

2016年3月に卒業・修了する方も学生として参加できます。受付当日に学生証の提示ができない場合は、3月に卒業・修了した旨お伝えください。

賛助会員の方へ：

1口につき1名様が研究発表会に無料でご参加できます。賛助会員受付にて名刺をご提示ください。(事前の参加連絡は不要です。) ご参加者様については、社内で調整をお願いいたします。ご欠席の場合は研究発表会アブストラクト集をお送りします。

懇親会：2016年3月17日(木) 18:00~20:00 (予定)

場所：慶應義塾大学日吉キャンパス ファカルティラウンジ

懇親会費：事前振込み5,000円

*原則、事前振込みとなります。当日申込みについては、定員上お受けできない場合があります。お受けできる場合は、6,000円です。

企業展示：

(株)NTTデータ 数理システム

(株)オクトーバー・スカイ

(株)構造計画研究所

協賛学会：正会員と参加費同額

・公益社団法人日本経営工学会 (JIMA)

・社団法人日本品質管理学会 (JSQC)

- ・日本信頼性学会 (REAJ)
- ・研究・技術計画学会 (JSSPRM)
- ・一般社団法人日本設備管理学会 (SOPE-J)
- ・一般社団法人プロジェクトマネジメント学会 (SPM)

参加費関連問合せ先：

OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

● 2016年秋季シンポジウム (第76回)

日 程：2016年9月14日(水)

場 所：山形大学 (小白川キャンパス)

● 2016年秋季研究発表会

日 程：2016年9月15日(木), 16日(金)

場 所：山形大学 (小白川キャンパス)

● 中部支部総会

中部支部URL：<http://www.orsj.or.jp/chubu/>

日 時：2016年3月5日(土) 12:00~13:00 (予定)

*時間につきましては、中部支部HPにてご確認ください。

場 所：ウインクあいち15階 (愛知県立大学サテライトキャンパス)

名古屋市中村区名駅4-4-38

<http://www.winc-aichi.jp/access/>

「名古屋駅」から徒歩約5分

● 中部支部特別講演

中部支部URL：<http://www.orsj.or.jp/chubu/>

日 時：2016年3月5日(土) 16:00~16:45

場 所：ウインクあいち15階 (愛知県立大学サテライトキャンパス)

テーマと講師、及び概要：

「信頼性における多状態問題について」

大鑄史男 (名古屋工業大学教授)

信頼性の問題が、信頼度の低い部品から構成されるシステムの信頼度を如何にして高めるかと言ったノイマンの問題意識から発したことはよく知られている。これを受け、Barlow, Proschanらのグループによって単調システムの問題を基本にシステムの信頼性評価方法、agingの問題、依存性の問題、保全の問題などについて基本的な議論がなされた。これらの議論では、システムおよび部品の状態として故障と正常の二状態のみが考えられていたが、実際にはこれら以外の中間的な状態も存在することはよく理解されていて、より

広い信頼性の理論的枠組みが求められていた。これを受け、二状態についての議論がほぼ収束した1980年頃から多状態に関する議論が始まり、現在は国際的に一つの大きなグループが構成され、理論・応用について議論されている。さらに現在の信頼性に関する問題意識は多状態のみでなく、多ユニット、多状態、依存性の三つを如何にしてモデル化し解析を行うかに向いている。特に依存性の問題は、Marshal Olkinの二変量指数分布の定義以来、部品の故障による他の正常部品への負荷増加の問題が代表的であり、最近の複雑ネットワークにおけるカスケード故障の考え方に通じる。

本講演では、樹脂押し機とオイルパイプラインを例に多状態システムのモデル化における問題、これまでに得られている知見、今後の進展などについて紹介する。

● 研究部会・グループ開催案内

【安全・安心・強靱な社会とOR】

・第17回

日 時：2016年2月5日(金) 15:00~18:00

場 所：政策研究大学院大学会議室4A

東京都港区六本木7-22-1

テーマと講師：

(1) 神藤 猛 (千葉大学)

「災害時の多機関の協働連携 (仮)」

(2) 宝崎隆祐 (防衛大学校)

「警備ゲームに係わる幾つかの話題 (仮)」

問合せ先：

主査 神藤 猛 (千葉大学)

E-mail: shindo@chiba-u.jp

担当 新村祐子 (千葉大学)

E-mail: adsa5167@chiba-u.jp

千葉大学大学院看護学研究科

TEL: 043-226-2472 (直通) FAX: 043-226-2776

【評価のOR】

・第68回

日 時：2016年2月13日(土) 13:30~16:30

場 所：東京理科大学森戸記念館

<http://www.tus.ac.jp/facility/morito/>

テーマと講師：

(1) 「サッカーチームのパフォーマンス分析—パフォーマンス指標の選択とDEAによる評価—」

小畑経史 (大分大学)

(2) 「Merton型の倒産確率評価モデルについて一新
たなモデル・パラメータ評価法の提案一」

三宅正敏 (二松学舎大学)

問合せ先: 廣津信義 (順天堂大学)

Tel: 0476-98-1001 (ex.352)

E-mail: nhirotsu@juntendo.ac.jp

*参加費無料・事前申込は不要です。初めての方も
気軽にご参加ください。

〔待ち行列〕

部会 URL: <http://www.orsj.or.jp/queue/>

・第260回

日 時: 2016年2月20日(土) 14:00~17:00

場 所: 東京工業大学大岡山キャンパス西8号館(W)
809号室

テーマと講師:

(1) 「客の待ち時間に制約のある集団到着M/G/1待ち
行列の解析」

井上文彰 (大阪大学)

(2) 「一般化最小待ち行列選択式モデルにおける変化
量の積率母関数の幾何的特性」

小林正弘 (東海大学)

問合せ先: 神奈川工科大学 井家 敦

E-mail: inoie@nw.kanagawa-it.ac.jp

〔OR普及のためのモチベーション教育〕

・第13回

日 時: 2016年2月13日(土) 15:00~17:00

場 所: 小樽商大サテライト (札幌市北5西5
Sapporo55ビル)

テーマと講師:

(1) 「医工連携・国際共同研究の取り組みと今後の展
望 (1)一認知機能評価のためのシステム開発と
利用一」

大柳俊夫 (札幌医科大学)

医工連携ならびに国際共同研究の実現は、21世紀
の大学に求められる大きな課題の一つと考えられる。
講演者の研究グループでは、1997年からカナダアル
バータ大学リハビリテーション医学部作業療法学科と
の共同研究に従事しており、現在もその活動を継続し
ている。本講演では、今年度からアルバータ大学とス
タートした認知機能評価のプロジェクトを紹介し、医
工連携と国際共同研究を成功させるための要因、また
これらのプロジェクトにおけるOR活用の可能性につ

いて考える。

(2) 「医工連携・国際共同研究の取り組みと今後の展
望 (2)一小児リハビリテーションのための
Kinect太極拳ゲーム一」

後藤幸枝 (札幌医科大学大学院)

小児リハビリテーションでは、運動の不器用さを伴
う発達障害児を対象に、Wii Fitなどの市販のゲームを
利用して、バランス機能や協調運動の改善を目標とし
た介入を行っている。本講演では、昨年8月から3カ
月間、カナダアルバータ大学リハビリテーション医学
部作業療法学科に短期留学し、その間に同大学理学部
コンピュータサイエンス学科との共同研究としてス
タートさせた小児リハビリテーションのためのKinect
太極拳ゲームプロジェクトを紹介する。プロジェクト
の計画から開発までの一連のプロセスと、現在までの
成果や今後の介入研究の展望を報告する。また、国際
共同研究プロジェクトへの参加の経験を通して、国際
共同研究を成功させるための要因について考える。

(3) 「『OR普及のためのモチベーション教育』研究
部会の3年間の活動報告」

大堀隆文 (北海道科学大学)

「OR普及のためのモチベーション教育」研究部
会では北海道のOR研究者が中心となり、OR普及の
ための教育研究に焦点を絞り、ORに興味を持っても
らうさまざまな仕掛け、モチベーションについてさ
まざまな立場から講演を頂いた。講演や議論を通して、
OR普及のためには、他分野の研究者との連携、例題
課題の精査、教育技法の開発などが有望であることが
議論された。本講演では、研究部会の3年間の講演、
議論、提案をまとめるとともに、OR教育の今後の展
望と方向性を探る。

問合せ先:

懇親会: 同17:30~ (札幌駅周辺)

なお研究部会と懇親会の申込みは2月6日(土) までに
主査 大堀 (E-mail: oohori@hus.ac.jp) までお願い
します。

● 新宿OR研究会

〔第355回 新宿OR研究会〕

日 時: 2016年2月16日(火) 12:00~14:00

場 所: OR学会事務局会議室

東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

*詳細は学会HPをご覧ください。

<http://www.orsj.or.jp/members/inquiry2.html>

最寄り駅

- ① JR 総武快速線「馬喰町」駅下車
西口改札 出口2より徒歩8分
 - ② 地下鉄 東京メトロ日比谷線「小伝馬町」駅下車
2番出口より徒歩6分
 - ③ 地下鉄 都営新宿線「岩本町」駅下車
A5出口より約6分
- *「新宿東天紅会議室」から変更になりましたので
ご注意ください。

講師：高寺正人氏 ((株)三菱総合研究所 執行役員
コーポレート部門副部門長)

テーマ：「IoT時代のサプライチェーン」

参加費：3,000円 (昼食代を含みます。事前にメール
にてお申込みください。)

問合せ先：日本OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055

● 他学協会協賛案内

他学会などが主催する大会やシンポジウムで当学会
が協賛しているものについては、原則として主催学会
の会員と同じ費用で参加できますので、皆様奮ってご
参加ください。

・日本ソーシャルデータサイエンス学会第2回シンポ ジウム

日程：3月5日(土)～6日(日)

場所：鹿児島大学稲盛会館

主催：日本ソーシャルデータサイエンス学会

参加費：日本ソーシャルデータサイエンス学会会員と
同じ参加費とする。

WEB：<http://www.jsdss.org>

・生産システム部門研究発表講演会2016

日程：2016年3月14日(月)

場所：東京理科大学 野田キャンパス

主催：日本機械学会 生産システム部門

参加費：機械学会会員価格に準ずる。

WEB：<http://www.jsme.or.jp/msd/html/93/kouen16-9.html>

・SCIS & ISIS 2016

Joint 8th International Conference on Soft Computing
and Intelligent Systems and 17th International
Symposium on Advanced Intelligent Systems

日程：2016年8月25日(木)～28日(日)

場所：北海学園大学 (札幌市)

主催：日本知能情報ファジィ学会

参加費：日本知能情報ファジィ学会会員に準ずる。

WEB：<http://scis2016.j-soft.org/>

2016年度年会費納入のお願い

2016年度年会費の請求書を2015年11月に発送いたしました。

大学または、会社宛の請求書が必要な場合は、以下をメールにて事務局にお知らせください（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名／法人名／法人名＋個人名）請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書／見積書／納品書、指定用紙など）。

OR学会の事業年度は3月～翌年2月までです。

年会費の口座振替（正会員）

年会費自動振替の方は**2016年1月20日**に「2016年度年会費」を引き落としさせていただきます。

シニア会員について

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請／承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

特別会員について

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。申請／承認後、翌年度より特別会員となります。特別会員の会費は7,200円です。

学生会員から正会員への変更

学生会員はご卒業やご就職により、2015年4月から社会人になられた方も、2016年2月末までは学生会員扱いです。

2016年度（2016年3月～2017年2月末）より正会員となります。正会員年会費14,400円の請求書を発送いたしました。

ご卒業やご就職による「住所・所属先・OR誌郵送先の変更」や「退会希望」については必ず事務局にご連絡ください。

学生会員年会費無料化キャンペーン

OR学会では学会活性化の一環として、2013、2014年度に引き続き、2015、2016年度も「学生会員年会費無料化キャンペーン」を実施中です。

1) 学生新入会希望で、かつ指導教員が正会員のの方は、2015年度・2016年度の学生会員年会費5,000円は無料となり、入会金600円でご入会できます。

- ①WEBからの入会申込み
- ②入会金600円のお振込み
- ③指導教員様からの応募メール（「指導教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属、メールアドレス」）

以上3点をもって、無料化受付が完了します。

2) 学生新入会希望で、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。

3) 6月に「学生証PDF送付依頼」のメールを送りました。返信をよろしく願います。

年会費専用振込み口座

年会費（不課税）：正会員14,400円、
学生会員5,000円、
シニア会員7,200円

口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

ゆうちょ銀行：東京00190-6-79492

みずほ銀行：根津支店（店番号235）普通1124744

*手数料は払込人負担でお願いいたします。

*お名前はフルネームでお書きください。

OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5

サン・チカビル7F

TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055

*各種お届けは、メールにてご連絡ください。

（住所／所属先／メールアドレス／OR誌送付先等の変更、退会届）

会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。